新潟市政ことしの展望

東港、今秋十一月開港へ

高速自動車道（新潟－長岡間）春に着工

市制八十周年、東港開港、関越高速自動車道の着工──など、ことしは新潟市にとって非常に意義ある年となりそうです。そこでことしを展望してみますと……。

災害復興終え 建設時代に…

ことしの新潟市政──まず建設事業関係をながめてみますと、第一に東港の開港があげられるでしょう。東港は去る三十八年に築港を開始以来六年の歳月をかけ、ダイナミックな工事が進められてきました。

すでに液体アンモニア運搬船が四年前から入港して、一部港の施設を利用しています。そして、きたる十一月十九日の西港開港記念日に、東港を正式開港する方針が決まっています。

また、新潟－長岡間を時速百㌔から百二十㌔の高速で走れるハイウエーの建設がことしから始まります。これは将来、東京とつなぐ関越高速道。富山、金沢を経て大阪に直結する北陸高速道になる重要路線です。

昨年着工した関屋分水工事は、いま寒風をついて掘削工事が急ピッチに進められていますが、分水完成後の旧信濃川をどう高度利用するかについて、ことしは一応の基本計画が進められることでしょう。

かえりみますと、ここ十数年、新潟市は大火、海岸決壊、地盤沈下、地震など、文字どおり災害の連続でした。しかし、市と市民のチームワークで、予想以上の早さをもって災害を克服し、復興を成しとげることができました。

災害復旧というのは、いわばマイナスを取り戻す事業です。しかしことしからは、そうした善後策的な事業ではなく、事業が直ちに市民サービスにつながるプラス要素の建設事業が大幅に進められることになると期待されます。

環境整備に "ウエート"

さて、ことしは市制施行八十周年に当たります。この意義ある年を迎え、市政一層の発展を図るための経済基盤と生活環境整備事業にウエートを置いた市政が進められることになるでしょう。

渡辺市長は、一月六日の新春記者会見で「教育の過疎過密対策、道路、とりわけ未舗装の細い道路についての簡易舗装、下水道の整備を重点に新年度予算を編成した」と、その方針を示しました。

そのほか、市と市民の話し合いを深めつつ窓口サービスの向上、公園・緑化の推進、スポーツと音楽の振興などを、より積極的に進めることになるでしょう。

国・県事業も 大幅に……

別表のように、建設時代を迎えた新潟市内で、国や県の手によるスケールの大きな事業が着手され、あるいは計画されています。

なお、この中には新潟－長岡間高速自動車道建設事業費四百二十億円は含まれていません。

新年度以降で1,662億円

新潟市における国・県事業と事業費

事業主体	事業区分	43年度の事業費	44年度以降の事業費	説明
国	道路関係	千円 633,400	千円 9,820,000	新潟および亀田バイパス、交通安全施設
	港湾、海岸関係	2,429,420	9,335,000	新潟港整備、西防波堤灯台整備、地盤沈下対策、新川漁港補償
	河川関係	2,000,000	11,212,000	関屋分水路築造
	農地関係	1,010,393	3,187,853	新川第二期土地改良
	教育関係	1,759,100	4,770,000	新潟大学移転用地および施設 看護婦寄宿舎等施設整備
	その他	252,120	915,180	新潟刑務所移転事業、新潟空港整備事業
	小計	8,084,433	39,240,033	
県	道路関係	980,547	29,436,455	街路事業、道路舗装、補修及び改良 交通安全施設、歩道橋新設
	港湾、海岸関係	2,628,950	22,268,550	新潟港整備、地盤沈下対策、海岸保全、東港工業用水
	河川関係	256,000	―	通船、栗の木両川災害復旧助成事業
	農地関係	999,442	1,954,741	特殊排水、農免道路、東港農業用水対策、新川地区用排水
	教育関係	126,944	―	中央高校、養護学校、ろう学校増築
	小計	4,991,883	53,659,746	
公社等	その他	10,633,963	73,362,285	国鉄、電話、電力、住宅、都市ガス 土地区画整理、福祉、カーフェリー
合計		23,690,279	166,262,064	

受益者負担の説明会

―市の下水道負担制度4月実施に備え―

県庁下手各町内で2月末まで

建設大臣の諮問機関である新潟都市計画審議会（会長亘知事）では、去る十二月二十六日自治会館で会議を開き、新潟市の公共下水道事業受益者負担に関する省令案を原案どおり可決しました。

同審議会では直ちに、その旨を建設大臣に答申していますので、新潟市が計画している公共下水道受益者負担についての建設省令は近く公布される見とおしです。

市下水道管理課では、公布に先立って対象となる市民の皆さんのご理解とご協力をお願いするため、目下その説明会を各町内単位で開いています。

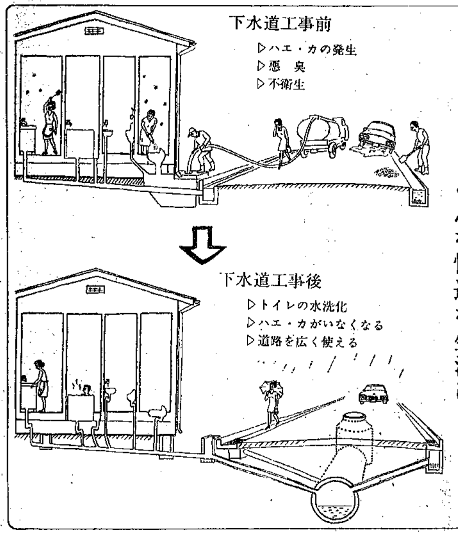
受益者負担制度は、公共下水道の普及につれて順次全市に広めてゆくことになりますが、とりあえず対象となっているのは西新潟の県庁から下手一帯です。

説明会は、土曜、日曜を除く毎日、町内の都合に合わせながら、二月末までを目途に開かれます。下水道建設課と同管理課の課長と課長補佐級で編成した八班の説明班が、ご町内に伺い、受益者負担の趣旨と具体的内容を説明することになっています。

期日や会場は、そのつど町内会を通じて回覧板でお知らせしますので、関係者のご出席を係りではお願いしています。

▽受益者負担金額（案）

対象地域の土地所有者、もしくは権利所有者から土地一平方㍍当たり一二三円五一銭の割りで市へ納めていただきます。（坪四〇四円九八銭）たとえば百平方㍍（約三十坪）をお持ちの方には一万二、三五一円の負担金がかかります。そして納入は三年分割、年四期（つまり十二回分納）となっています。したがって一回につき約千円を納めていただくことになります。



公共下水道ができるとこんな快適な生活に…

市役所あんない ⑧

―資産税課の仕事―

○…資産税課は市役所四階の西側に面しています。職員数は高橋課長以下七十八人のマンモス世帯です。

○…同課で扱う税金は固定資産税と都市計画税の二つです。固定資産税は土地、家屋、償却資産（家屋以外の営業用の機械や設備）に課税されます。都市計画税は土地と家屋に課税されます。この二つの税金は次の点が違います。固定資産税は市の一般財源として徴収されますが、都市計画税は都市計画法に基づく特定事業（区画整理や公園など）にのみ使用するために徴収されます。

○…同課で扱う税金は四十三年度で約二十一億三千万円。これは市税の約四十㌫に当たります。市民一人当たり年間約五千円を固定資産税、都市計画税として払っている計算になります。

○…同課は市役所で一番台帳の多い課として有名です。その数は二千冊を越えます。また同課は十二月から二月末まで資産評価のために最も忙しくなります。

○…係りは管理係、土地係、家屋第一・二係、償却資産係の五つに分かれています。

管理係は課の庶務や台帳整備を担当しています。その他の係は土地、家屋、償却資産についての調査や評価が主な仕事です。

▽窓口の弁

土地や家屋を贈与・相続される方、家屋を新築される方は必ず法務局で登記手続きをしてください。また住所が変わった場合も変更手続きを。手続きをされませんと所有が不明確で課税がスムーズにゆきません。

家屋調査の際、調査員に不審を感じたら身分証の提示を求めてください。

各種台帳が2,000冊

扱うお金は市税の40%

お宅の楽しい夕食のお料理に…堀川のかまぼこも

お加えください

かまぼこのパイオニア

堀川

この欄の広告の取り扱いは新潟広告センターへ